HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	明治三九・四〇年
Citation	北大百年史, 史料(二), 611-627
Issue Date	1981-07-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/30083
Type	departmental bulletin paper
File Information	siryo2_p611-627.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

明治三九・四〇年

明治三九年

九八三　水産科新設に関する件

私報百十六

文部省真野局長　ニカ

水産科ニツキ本道選出ノ代議士、道庁長官、早川渡せ藤田諸氏ニ打電シ又タ政友会ノ方ハ人ヲ介シテ重立テル議員ニ依頼致セリ是非御尽力通過ヲハカラレタク希望ス

二月七日　　サトウ

〔農八一三〕

九八四　農芸科第二学期試験時間割伺

明治卅九年三月七日　　雇小野岡堯敏㊞

教務部長㊞(宮部)

校長㊞(佐藤)　　農芸科主任㊞(南)

学期試験施行ノ件

農芸科第二学期試験ハ別紙日割ヲ以テ施行相成可然哉相伺候也

〔別紙〕

第二学期試験日割

農芸科第三年級

午前八時半より十時半　午前十時半ヨリ十二時半

第　三月十五日(木)　作物論　(東海林助教授)　果樹　(鈴木助教授)

〃　十六日(金)　経済学　(東海林助教授)　土地改良論　(原講師)

四　〃　十七日(土)　三角術　(平野講師)　漢文　(新居助教授)

教　〃　十九日(月)　気象学　(時任教授)　測量術　(大塚教員)

室　〃　二十日(火)　昆虫学　(松村教授)　兵式体操　(午後一時半ヨリ)

同　第二年級

第　三月十五日(木)　漢文　(新居助教授)　土地改良論　(原講師)

〃　十六日(金)　植物生理学(半沢助教授)　肥料論　(鈴木講師)

三　〃　十七日(土)　植物病理学(半沢助教授)　化学　(鈴木講師)

教　〃　十九日(月)　作物論　(東海林助教授)　養蚕　(今田教員)

室　〃　二十日(火)　幾何　(平野講師)

〃　二十二日(木)　蔬菜　(東海林助教授)　兵式体操　(午後一時半ヨリ)

同　第一年級

三月十五日(木)　農具　(原講師)　動物学　(半沢助教授)

第　〃　十六日(金)　漢文　(新居助教授)　植物学　(半沢助教授)

二　〃　十七日(土)　代数　(田中教員)　養蚕　(今田教員)

教室　〃　十九日(月)　化　学　（鈴木講師）　兵式体操（午後一時半ヨリ）
〃　二十日(火)　作物論　（東海林助教授）
〃　二十二日(木)　物理学　（青葉教授）

〔農九九八〕

九八五　第二学期試験時間割伺

明治卅九年三月十二日　雇小野岡堯敏㊞

校長㊞（佐藤）　教務部長㊞（宮部）

第二学期試験別紙時間割ニ依リ施行相成可然哉相伺候也

〔別紙〕

第二学期試験時間割

本科第四年級

午前八時半ヨリ十時半　十時半ヨリ十二時半

三月十九日(月)　畜産学　（橋本教授）
農　〃　廿日(火)　獣医学　（南教授）
一　〃　廿二日(木)　農政学　（高岡教授）
〃　廿三日(金)　農産製造　（吉井教授）

同　第三年級

三月十九日(月)　農業経済学（佐藤教授）
〃　廿日(火)　家畜衛生　（橋本教授）
〃　廿二日(木)　園芸論　（南教授）
〃　廿三日(金)　畜産学　（橋本教授）
二　〃　廿四日(土)　家畜飼養　（大島教授）
〃　廿六日(月)　作物論　（南教授）

同　第二年級

三月十九日(月)　植物生理　（宮部教授）
農　〃　廿日(火)　土壌肥料　（吉井教授）
〃　廿二日(木)　土地改良論（時任教授）
〃　廿三日(金)　昆虫学　（松村教授）
四　〃　廿四日(土)　経済原論　（高岡教授）
〃　廿六日(月)　動物生理学（八田教授）

同　第一年級

三月十九日(月)　農芸物理　（時任教授）
昆　〃　廿日(火)　動物学　（八田教授）
〃　廿二日(木)　植物営養　（大島教授）
〃　廿三日(金)　隠花植物　（宮部教授）
一　〃　廿四日(土)　農　具　（時任教授）
〃　廿六日(月)　分析化学　（吉井教授）

予修科第二年級

三月十六日(金)　英　語　（ローランド）（午後一時半ヨリ）
森林学大意　（宍戸教授）
植物病理（宮部教授）
農　史　（佐藤教授）
普通作物（南教授）
独乙語　（高岡教授）
英文語　（佐藤教授）

三月十九日(月)　物理学　(青葉教授)
経　〃　廿日(火)　化　学　(大島教授)
〃　廿二日(木)　植物学　(宮部教授)　英　語　(宮部教授)
〃　廿三日(金)　動物学　(八田教授)
一　〃　廿四日(土)　地質学　(八田教授)　体　操　(内海少佐)
〃　廿六日(月)　独乙語　(松村教授)　測　量　(高山教授)

同　第一年級

三月十六日(金)　英　語　(パートレット)(午後一時半ヨリ)
化　〃　十九日(月)　化　学　(吉井教授)
〃　廿日(火)　独乙語　(時任教授)
〃　廿二日(木)　漢　文　(新居助教授)
〃　廿三日(金)　英　語　(大島教授)　体　操　(内海少佐)
二　〃　廿四日(土)　物　理　(青葉教授)

土木工学科第三年級

三月十九日(月)　橋　梁　(坂岡教授)
農　〃　廿日(火)　電気工学　(高山教授)
〃　廿二日(木)　衛生工学　(同)　体　操　(内海少佐)
〃　廿三日(金)　水利工学　(古藤教授)
〃　廿四日(土)　機械工学　(高山教授)
五　〃　廿六日(月)　鉄　道　(坂岡教授)

同　第二年級

三月十九日(月)　力　学　(古藤教授)
化　〃　廿日(火)　建築材料　(坂岡教授)
〃　廿二日(木)　水利工学　(古藤教授)
〃　廿三日(金)　道　路　(高山教授)
〃　廿四日(土)　墜〔マヽ〕道　(坂岡教授)　石　工　(高山教授)
三　〃　廿六日(月)　英　語　(古藤教授)　体　操　(内海少佐)

同　第一年級

三月十九日(月)　測　量　(高山教授)　画　法　(古藤教授)
植　〃　廿日(火)　三角法　(古藤教授)
〃　廿二日(木)　地質学　(八田教授)　英　語　(古藤教授)
〃　廿三日(金)　物理学　(青葉教授)
物　〃　廿四日(土)　化　学　(吉井教授)
〃　廿六日(月)　体　操　(内海少佐)

林学科第三年級

三月十九日(月)　林政学　(宍戸教授)
昆　〃　廿日(火)　造林学　(〃)　体　操　(内海少佐)
〃　廿二日(木)　森林経済学(堀講師)
二　〃　廿三日(金)　森林利用　(宍戸教授)
〃　廿四日(土)　独乙語　(斎藤教員)

同　第二年級

三月十九日(月)　森林利用　（堀講師）　体　操　（内海少佐）
〃　廿日(火)　森林数学　（〃）　動物実験
〃　廿二日(木)　独乙語　（斎藤教員）
〃　廿三日(金)　測　量　（堀講師）　造林学　（宍戸教授）
〃　廿四日(土)　法　律　（宍戸教授）
〃　廿六日(月)　財政学　（堀講師）

同　第一年級

三月十九日(月)　化　学　（大島教授）　動物
〃　廿日(火)　三角法　（古藤教授）　体　操　（内海少佐）
〃　廿二日(木)　地質学　（八田教授）
〃　廿三日(金)　物理学　（青葉教授）　独乙語　（斎藤教員）
〃　廿四日(土)　物
〃　廿六日(月)　経済学　（宍戸教授）

〔農九九八〕

九八六　文部省直轄諸学校職員定員令中改正の件

（勅令第四六号）

朕文部省直轄諸学校職員定員令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

内閣総理大臣侯爵西園寺公望

明治三十九年三月二十九日

文部大臣　牧野伸顕

勅令第四十六号（官報三月三十日）

文部省直轄諸学校職員定員令中左ノ通改正ス

〔中略〕札幌農学校ノ部教授ノ欄「十五人」ヲ「二十一人」ニ、助教授ノ欄「十八人」ヲ「十九人」ニ、書記ノ欄「八人」ヲ「十人」ニ〔中略〕改ム

〔中略〕

附　則

本令ハ明治三十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔後略〕

〔法令全書〕

九八七　技手採用に付奉天軍政官への返電（五月七日）

奉天軍政官

新渡戸ノ電報ニヨル技手ハ適任者アリ月俸百五十円ノモノ二名採用アリタキ旨横山技師江御伝ヘヲ乞ふ　六十三字二円七十銭（新居）

佐藤農学校長

付　伝習科卒業生採用に付問合

五月五日

発信人居所氏名　グンセイカン

受信人居所氏名　サツホロノウガクコウテウサトウシヨウスケ

ニトベ　ハカセヨリ○ホウテンノウジ　シケンゼ　ウセツリツニツキギ　ジ　ツクワンスウメイサイヨウノハヅ　ソノウチギ　テ一二メイデ　ンシウクハノソツギ　ヨウセイヨリサイヨウシタシホウキウハゲ　ンキウノ二バ　イノミコミリヨヒハ　モチロンシタクリヤウツキワリ一〇カゲ　ツブ　ンヲキウシシクシヤノセツビ　モアリガ　シテウハタブ　ンヨコヤマノミコミ○セウカンハ一リヤウニチチウニシツパ　ツスルニツキヘンジ　ハヨコヤマニツタヘラルルヨウグ　ンセイカン　ニアテハツデ　ンアリタシ

〔農八一三〕

九八八　教授松村松年に台湾出張嘱託の件に付回答

第一一五号

松村教授出張ノ件回答案

客月廿四日糖秘第五七号ヲ以台湾甘蔗虫害取調方本校教授理学博士松村松年ヘ御嘱託ノ件照会之趣了承右ハ六月中旬出発往復とも六〔ママ〕十間ノ予定ヲ以御嘱託ニ為応可申候尤旅費日当等ハ本人資格相当ニ御支辨相成候儀と相心得候此段及御回答候也

明治三十九年五月十四日　　校　長

臨時台湾糖務局長宛

〔農八一三〕

九八九　宮部教授樺太出張の件に付回答（五月一九日扱済）

電報案（ニカ）

東京市京橋区西紺屋町十九

熊谷民政長官　　サトウ

宮部教授へ御嘱託指支ナシ　　廿九字

付　宮部教授樺太出張の件に付伺（五月一六日扱済）

教授出張ノ件電報伺案

文部大臣官房秘書課長（ニカ）　　一サロ

熊谷民政長官ヨリ本校宮部教授ヘ調査事務嘱託致度旨照会アリ本校ニハ指支無シ嘱託ニ応シ可然哉御回答アレ　　七十三字

〔農八一三〕

九九〇　第三学期試験時間割伺

明治卅九年六月十四日　　書記小野岡堯敏㊞

校長㊞(佐藤)　　教務部長㊞(宮部)

試験時間割ノ件

第三学期試験別紙時間割ニ依リ施行相成可然哉相伺候也

〔別紙〕

第三学期試験時間割

本科第四年級

自午前八時半至十時半　　自午前十時半至十二時半

農 六月二十日(水) 農政学 高岡教授　　〃 第二年級

一 〃 廿一日(木) 畜産学 橋本教授　　農 六月 廿日(水) 肥料論 吉井教授

〃 第三年級　　〃 廿一日(木) 農史 佐藤教授

六月 廿日(水) 畜産学 橋本教授　　〃 廿二日(金) 植物病理 宮部〃

農 〃 廿一日(木) 園芸論 南教授　　四 〃 廿三日(土) 普通作物 南〃

〃 廿二日(金) 家畜飼養 大島〃　　〃 廿五日(月) 経済原論 高岡〃

〃 廿三日(土) 家畜生理及衛生 橋本〃

〃 第一年級

二 〃 廿五日(月) 特用作物論 南教授　　六月 廿日(水) 植物学 宮部教授

〃 廿六日(火) 森林大意 宍戸教授　　昆 〃 廿一日(木) 農具論 時任〃

学 農業経済 佐藤教授　　〃 廿二日(金) 英文学 佐藤〃

〃 廿三日(土) 土壌及肥料 吉井〃

一 〃 廿五日(月) 農芸物理 時任〃

〃 廿六日(火) 独乙語 高岡〃

予修科第二年級

六月 廿日(水) 数学 平野講師

経 〃 廿一日(木) 英語 宮部教授 英語 ジョンソン

〃 廿二日(金) 測量 高山〃

〃 廿三日(土) 有機化学 大島教授 体操 内海講師

一 〃 廿五日(月) 植物学 宮部教授

〃 廿六日(火) 物理学 青葉教授

〃　第一年級

六月　廿日(水)独乙語　時任教授　漢文　新居助教授
〃　廿一日(木)数学　平野講師　化
〃　廿二日(金)無機化学　吉井教授
〃　廿三日(土)物理学　青葉教授
〃　廿五日(月)英語　ジョンソン　近世史　佐藤教授　二
〃　廿六日(火)英語　大島教授　体操　内海講師

土木工学科第三年級

六月廿一日(木)電気工学　高山教授　農
〃　廿二日(金)体操　内海講師　五

〃　第二年級

六月　廿日(水)水利工学　古藤教授
〃　廿一日(木)橋梁　坂岡〃　化
〃　廿二日(金)鉄道　〃
〃　廿三日(土)衛生工学　高山教授
〃　廿五日(月)力学　古藤〃　体操　内海講師　三
〃　廿六日(火)石工　高山教授　英語　加藤講師

〃　第一年級

六月　廿日(水)建築材料　坂岡教授
〃　廿一日(木)物理学　青葉〃　体操　内海講師

〃　廿二日(金)三角及解析西田講師　植
〃　廿三日(土)微積分大意　〃　画法　古藤教授
〃　廿五日(月)測量　高山教授　物
〃　廿六日(火)力学　古藤〃

林学科第二年級

六月　廿日(水)森林利用　堀講師　昆
〃　廿一日(木)林政学　宍戸教授
〃　廿二日(金)森林数学　堀講師　体操　内海講師
〃　廿三日(土)造林学　宍戸教授
〃　廿五日(月)独乙語　斎藤教員　法律　宍戸教授　二
〃　廿六日(火)財政学　堀講師

〃　第一年級

六月　廿日(水)経済学　宍戸教授
〃　廿一日(木)物理学　青葉教授　動
〃　廿二日(金)三角及解析西田講師
〃　廿三日(土)測量　堀講師　独乙語　斎藤教員
〃　廿五日(月)有機化学　大島教授　体操(一時半ヨリ)　内海講師　物
〃　廿六日(火)植物学　半沢教授

〔農九九八〕

九九一　藤田経信を教授に任命の儀稟申

第四〇号

教授任命ノ儀稟申

札幌農学校教授
高等官四等
五級俸　　水産調査所技師兼水産講習所技師
正六位藤田経信

右者今般本校水産学科新設ニ付水産学科養殖授業上必要ナルヲ以テ高等文官試験委員ノ銓衡ヲ経テ本校教授ニ転任頭書ノ通任命相成候様致度候間別紙履歴書[注]ヲ添ヘ此段稟申候也

明治三十九年六月廿九日　　校長

文部大臣宛

〔注〕別紙を略す。

〔農八一三〕

九九二　水産学研究のため野沢俊次郎外二名留学の件上申

第四五号

外国留学生ノ件上申

本校ニ於テ明年度ヨリ高等水産科授業開始ニ付漁撈、養殖及製造ノ各学科授業担当可致教官外国留学被命度旨曩ニ上京中上申致置候処今般稟申致置候北海道庁技師野沢俊次郎水産調査所技師藤田経信本校教授ニ転任幷本校講師鈴木寧助教授ニ任用之上ハ左記ノ通海外留学被命候様致度野沢技師及右藤田技師之義ハ水産ニ於ケル従来之経歴学力及人物ニ於而適任者ト被認又タ鈴木寧之義ハ本校在学中ハ特ニ農芸化学ヲ専攻シ常ニ学力優等ノモノニ有之卒業後ハ北海道庁立水産学校ニ於テ水産製造ヲ担任シ本校ニ於テモ化学授業担当シ其学力及人物ニ於テ将来有望之モノニ有之候間適任ニ候ヘハ此際特ニ御選抜相成候様致度予メ上申候也

明治三十九年六月廿九日　　校長

文部大臣宛

記

独、仏、那威、瑞典、英、米、六ヶ国　　教授野沢俊次郎
右ハ一年半間水産科漁撈研究ノ為メ留学

独、仏、那威、瑞典、英、米、六ヶ国　　教授藤田経信
右ハ二年間水産科養殖研究ノ為メ留学

独、仏、那威、瑞典、英、米、六ヶ国　　助教授鈴木寧
右ハ二年半間水産科製造研究ノ為メ留学

〔農八一三〕

九九三　森本厚吉に講師嘱託の儀稟請

第六八号

講師嘱託ノ義稟請

嘱託講師
手当金年額千二百円　　森本厚吉

右者本校授業上ノ必要有之候ニ付頭書ノ手当金ヲ以テ講師ヲ嘱託シ専ラ英語歴史農史等授業為致度尤本人ハ兼テ米国ジョンス、ホプキンス大学ニ在学ノ処此際帰朝ノ途ニ就キ居候間帰朝ノ上ハ直ニ嘱託可致候ニ付御許可相成度別紙履歴書[注]ヲ添ヘ此段稟請候也

明治三十九年九月五日　　校長

文部大臣宛

〔注〕別紙を欠く。

〔農八一三〕

九九四　学生生徒保証人廃止の件に付回答

第二六三号

学生々徒保証人廃止ノ件

九月廿八日発専一九六号ヲ以テ本校学生々徒保証人廃止ノ儀ニ付御省議ノ次第御通牒ノ趣了承右ハ自今廃止致候テモ指支無之見込ニ有之候間直ニ校則改正上申可致ノ処他ニ改正ヲ要ス条項有之目下取調中ニ付不日併セテ上申可致候間右ニ御了知相成度此段御回答旁申進候也

明治三十九年十一月十三日　　校長

実業学務局長宛　親展

付　学生生徒保証人廃止の件に付申入

発専一九六号

貴校ノ規程ニ依レハ生徒入学ノ際必保証人ヲ立テシムルコト、相成居候処右保証人ヲ立テ証書ヲ出サシムル為ニハ学校及生徒父兄ニ於テ煩瑣ノ手数ヲ要スルコト鮮カラス然ルニ生徒ノ多数ハ成年前後ニ達シ他ノ幼年生徒ト同一ノ取扱ヲ為スノ必要無之将来生徒ノ監督ヲ一層周密ニシ又必要ノ場合ニハ父兄ノ徳義心ニ訴フルコトヽセハ保証人及証書ヲ廃スルモ大ナル差支ヲ生スルコト無之ト被存候仮令ヒ保証人及証書ヲ廃スルカ為ニ多少不便ヲ生スルコトアリトスルモ大体ニ於テ学校ノ事務ヲ簡捷ニシ父兄ノ手数ヲ省略スル義ニ付自今保証人及証書ヲ廃シ度省議ニ候間右ノ趣旨ニ依リ其レ其レ御措置相成度若シ保証人ヲ存置スヘキ重大ナル理由有之候ハヽ詳細承知致度候依命此段申進候也

明治三十九年九月廿八日

文部省専門学務局長　福原鎗二郎　印
文部省実業学務局長工学博士真野文二　印

札幌農学校長農学博士佐藤昌介殿

〔農八一三〕

明治四〇年

九九五　校則改正及び水産学科仮規則制定の件許可

二月一日

受信人居所氏名　サツホロノウガクコウテウ
六カユ五カオオヨビツイカノケンカリキソクトシテキヨカス一モホ
校則改正及追加ノ件仮規則トシテ許可ス　文部大臣

付　校則中改正及び追加の件稟請

第二七〇号

校則改正及追加ノ件稟請

本校々則中学生々徒在学証書及保証人ニ関スル規程ヲ削除シ校費生給費生ヲ廃シ且来年度ヨリ新設スル水産学科ニ関スル規程ヲ追加スル必要有之候ニ付左ニ改正及追加案ヲ具シ此段稟請候也

明治三十九年十二月廿日　校長　文部大臣宛

校則中改正及追加案

本校々則中左ノ通改正追加ス

但水産学科規程ハ明治四十年四月ヨリ施行ス

第十八条乃至第二十二条ヲ削除シ学生々徒ノ在学証書及保証人ニ関スル規程ヲ廃ス其他条項中ニ在ル保証人ニ関スル者亦同シ

但以下各条トモ順次繰上ルモノトス

（理由）従来学生々徒ノ父兄及在札幌人ヲ以テ其保証人トナシ身分進退等ニ関スル事ヲ保証セシメタルモ既ニ成年ニ近ク又成丁以上ノ者ナレハ各自其責任ヲ重セシメ且事務上煩瑣ノ手数ヲ省略スルヲ要スルニ由ル

第八章「校費生及特待生規程」ヲ「特待生規程」ニ改メ以下各条中ノ校費生ノ文字ヲ削除ス

第五十条乃至第五十四条及第五十九条ヲ削除シ校費生ニ関スル規程ヲ廃ス

第八十一条乃至第八十六条及第八十九条第九十一条ヲ削除シ給費生ニ関スル規程ヲ廃シ以下各条中ノ給費生ノ文字ヲ削ル

第八十七条ヲ左ノ如ク改ム

農芸科生徒中学力優等品行端正ナル者ヲ選ヒ特待生トナスコトア

ルヘシ

但十二人ヲ以テ定員トス

第百四十九条ニ左ノ一項ヲ加フ

明治三十九年四月以降給費生トナリシ農芸科生徒ニ対シテハ明治四十年三月迄仍ホ給費生ニ関スル従来ノ規程ヲ適用ス

第百九十二条乃至第百九十八条ヲ削除シ給費生ニ関スル規程ヲ廃ス

（理由）以上校費生及給費生ヲ廃スルハ近時入学志願者多キヲ以テ別ニ奨励ノ必要ナク且経費ノ部合アルニ由ル

漁撈部

水産学科ニ関スル規程ヲ追加スル左ノ如シ

第二十三章　水産学科規程

第百七十五条　水産学科ニ於テハ水産上必要ナル教育ヲ授ク

第百七十六条　水産学科修学年限ハ三箇年トス

第百七十七条　水産学科ハ之ヲ漁撈養殖及水産製造ノ三部ニ分チ生徒各自ノ志望ニ従ヒ其一ヲ専修セシム

但第一学年ニ於テハ各部共通ノ学科ヲ課スルモノトス

第百七十八条　水産学科ニ於テ修業スヘキ学科ハ大略左ノ如シ

学期 / 学科	第一学年 週時	第二学年 週時	第三学年 週時
倫理	不定	不定	不定
英語	四	四	二
水産通論	一	—	—
数学及測量術	三	—	—
水産動物学	三	—	—
水産植物学	三	—	—
浮游生物学	—	二	—
化学	三	—	—
物理学	二	—	—

学期 / 学科	第一学年 週時	第二学年 週時	第三学年 週時
応用機械学	—	三	—
気象学	一	—	—
海洋学	二	—	—
航海術	—	二	—
漁船運用術	—	二	—
漁船構造論	—	二	—
漁撈論	—	四	六
水産養殖論	—	二	—
水産保護論	—	—	二

学期 / 学科	第一学年 週時	第二学年 週時	第三学年 週時
水産製造論	—	三	三
経済学	二	—	—
水産業経営法及簿記	—	—	二
漁業制度	—	—	一
航海衛生及救急療法	—	—	一
兵式体操	不定	不定	不定
合計	二四	二四	一七
実験及実習	週回 一	週回 —	週回 —
水産動物学実験			

養殖部

学期 / 学科	第一学年 週時	第二学年 週時	第三学年 週時
倫理	不定	不定	不定
英語	四	四	二
水産通論	一		
数学及測量術	三		
水産動物学	三	二	
水産植物学	三	一	
動物発生学			
浮游生物学			
細菌学		二	
化学	三	三	
物理学	二		
気象学	一		
海洋学	二		
漁撈論			
水産養殖論			
水産保護論			
水産製造論			
経済学			
水産業経営法及簿記			
漁業制度			
兵式体操	不定	不定	不定
合計	二四	二三	二〇

学期 / 学科	第一学年 週時	第二学年 週時	第三学年 週時
水産植物学実験	一		
浮游生物学実験		一	
定性分析	二		
気象学及海洋学実験	不定		
網釣具製造実習		三	
漁船運用実習			
漁法演習			
航海術実習			
測量実習	不定		
実験及実習			
水産動物学及発生学実験	一週一回	一週二回	一週一回
水産植物学実験	一	一	一
浮游生物学実験		一	
細菌学実験		一	
定性分析			
気象学及海洋学実験			
養殖実習	不定	不定	不定
測量実習			

学期 / 学科	第一学年 週時	第二学年 週時	第三学年 週時
水産植物学実験	一		
浮游生物学実験		一	
定性分析	二		
気象学及海洋学実験	不定		
網釣具製造実習		三	
漁船運用実習			
漁法演習			
航海術実習			
測量実習	不定		

水産製造部

学科＼学期	第一学年 週時	第二学年 週時	第三学年 週時
倫理	不定	不定	不定
英語	四	四	二
水産通論	一	—	—
数学及測量術	三	—	—
水産動物学	三	—	—
水産植物学	三	—	—
細菌学	—	二	—
化学	—	二	—
分析化学	—	二	—
物理学	二	三	—
応用機械学	—	三	—

学科＼学期	第一学年 週時	第二学年 週時	第三学年 週時
気象学	一	—	—
海洋学	二	—	—
漁撈論	—	三	三
水産養殖論	—	二	—
水産保護論	—	—	二
水産製造論	—	五	六
食品化学	—	—	二
経済学	二	—	—
水産業経営法及簿記	—	—	二
漁業制度	—	—	一
兵式体操	不定	不定	不定

学科＼学期	第一学年 週時	第二学年 週時	第三学年 週時
合計	二四	二三	一八
実験及実習			
水産動物学実験	週一回	週一回	週一回
水産植物学実験	一	—	—
細菌学実験	—	一	—
定性分析	二	—	—
定量分析	—	二	一
水産製造実習	—	不定	不定
測量実習	不定	—	—

第百七十九条　水産学科ノ学年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第百八十条　学年ヲ分テ三学期トシ第一学期ハ四月八日ヨリ七月十日ニ至リ第二学期ハ九月十一日ヨリ十二月二十四日ニ至リ第三学期ハ一月八日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第百八十一条　水産学科ニ入学スルコトヲ得ルモノハ中学校ヲ卒業シタルモノ若クハ専門学校入学者検定規程ニ拠リ検定ニ合格シタルモノトス

但入学志望者予定ノ人員ヲ超過シタルトキハ撰抜試験ヲ行ヒ其成績優等ナルモノヨリ順次入学セシム

第百八十二条　水産学科ヘ入学ヲ志願スルモノハ入学願書ト共ニ入学手数料金三円ヲ前納スヘシ

但校則第十六条第二項ヲ適用ス

第百八十三条　水産学科ニ於テ定規ノ課程ヲ卒ヘタルモノニハ左式ノ卒業証書ヲ授与ス

（卒業証書式）

姓　名

札幌農学校ニ於テ水産学科ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘリ仍テ之ヲ証ス

水産学科主任

札幌農学校教授位勲学位姓名印

教官ノ証明正当ナルヲ以テ札幌農学校印ヲ鈐シ之ヲ証ス

年　札幌農学校印　月　日

札幌農学校長位勲学位姓名印

第百八十四条　水産学科ヲ卒業シタルモノハ水産学得業士ト称スルコトヲ得

第百八十五条　水産学科ノ授業料ハ一学年金二十円トス其毎学期ノ納付額ハ左ノ如シ

第一期金六円　第二期金七円　第三期金七円

第百八十六条　水産学科生徒ハ百八十名ヲ以テ定員トス

第百八十七条　水産学科生徒中学業優等品行端正ナルモノヲ撰ヒ特待生トナスコトアルヘシ

但十八人ヲ以テ定員トス

第百八十八条　水産学科ノ休業、入学、在学、退学、懲罰、休学、試業、特待生、授業料及被服規程幷生徒心得ハ凡テ校則第三章以下ノ本科規程ニ準ス

〔農九八一〕

九九六　東北帝国大学に関する件（勅令第二三六号）

朕東北帝国大学ニ関スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御　名　御　璽

明治四十年六月二十一日

内閣総理大臣侯爵西園寺公望

文部大臣　牧野伸顕

勅令第二百三十六号（官報六月二十二日）

第一条　仙台ニ帝国大学ヲ置キ東北帝国大学ト称ス

第二条　札幌農学校ヲ東北帝国大学農科大学トス

第三条　東北帝国大学ノ分科大学及分科大学中ノ各学科開設ノ期日ハ文部大臣之ヲ定ム

第四条　東北帝国大学総長ノ職務ハ当分ノ内東北帝国大学農科大学長ヲシテ之ヲ行ハシム

第五条　帝国大学令第六条乃至第八条ノ規定ハ当分ノ内東北帝国大学ニ之ヲ適用セス

附　則

本令ハ明治四十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔法令全書〕